

# 福井県社会人バスケットボール連盟

## 大会運営ガイドライン

### 1. 大会開催の条件について

- ・参加チームの選手、スタッフおよび大会に関わる関係者が日頃から、コロナウイルス感染症対策を徹底していること。
- ・会場内で、参加者の間隔が十分確保できる規模の体育館であること。
- ・県または、開催地域自治体からイベント制限あるいは、会場使用制限等が発表されていないこと。
- ・国および、上位機関のガイドラインに基づいた福井県社会人バスケットボール連盟大会運営ガイドラインを遵守すること。

### 2. 大会参加の可否について

#### (1) チームのメンバー（スタッフを含む）に陽性者が出た場合

⇒ 発症日から2日前までにチームとして活動していた場合は、発症日の翌日から5日間が経過していなければ、そのチームは大会に参加することはできない。

ただし、チームとしての活動に参加していなかった者及び接触していた者のうち、2日目と3日目に抗原検査キットを用いた検査で陰性が確認できた者をメンバーとし、チーム編成が可能な場合は参加を認める。

#### (2) チームのメンバー（スタッフを含む）で陽性者となった本人の参加

⇒ 発症日の翌日から7日間が経過していなければ、大会に参加することはできない。

ただし、無症状の場合は、5日目に抗原検査キットを用いた検査で陰性が確認できた場合は、6日目から大会参加を可能とする。

#### (3) チームのメンバー（スタッフを含む）で濃厚接触者となった本人の参加

⇒ 濃厚接触者となった日の翌日から5日間が経過していなければ、大会に参加することはできない。

ただし、2日目と3日目に抗原検査キットを用いた検査で陰性が確認できた場合は、3日目から大会参加を可能とする。

### 3. 選手、チームスタッフについて

- ・選手、チームスタッフは、大会当日朝自宅で検温しチェックシートに記入する。  
→検温結果が37.5度以上の場合は自宅待機（参加不可）とする。
- ・会場受付で検温し、検温結果が37.5度以上の場合は速やかに帰宅する。

- ・会場入場者は、必ず競技会場入場に関するチェックシートを個人毎に提出する。
- ・競技会場入場に関するチェックシートの結果により、入場不可となる場合がある。
- ・会場内ではマスクの着用を義務付ける。(コート上のプレーヤーは除く)
- ・館内での飲食については、指定場所以外では行わず、周囲の人となるべく距離を取り、会話をしている際にはマスクを着用すること。
- ・ゴミ(マスクも含む)は各自、各チームが必ず持ち帰る。
- ・会場自動販売機で購入した飲料のゴミ以外は、会場のごみ箱を使用しない。

#### 4. 大会役員、大会関係者、協会役員、審判員について

- ・選手、チームスタッフと同様の感染防止対策を行う。

#### 5. 会場について

- ・指定された入口と出口、動線を使用し、不必要な接触を避ける。
  - ・会場入り口に消毒液を設置する。
  - ・会場内フローアは必要最低限の立入人数とする。
  - ・1試合終了ごとにアルコール消毒をする。(ベンチ、T0席、T0機器、ボール等)
- ※：ベンチ、T0席を使用したチーム関係者で行うこと。

#### 6. 観客(入場者)について

- ・原則、無観客試合とする。

ただし、県内の感染状況や開催地自治体の方針、大会会場の構造等を総合的に考慮し、大会運営および感染対策が十分に行えると大会感染対策責任者(連盟理事長)が判断した場合は、観客を入れることができる。一般観客の入場は不可とする。

入場可能な方は以下とする。

- ・チーム感染対策責任者の承諾を得た方
- ・大会に登録している方
- ・感染対策責任者が承諾した方

入場の場合は、競技会場入場に関わるチェックシートを提出し、「2. 選手、チームスタッフについて」と同様の扱いとする。

#### 7. 試合運営について

- ・試合前、試合後に相手チーム、審判との握手は実施しない。
- ・両チームベンチへの挨拶を実施しない。
- ・コート上でチームメイト、審判と会話する際にもお互いの距離について配慮する。
- ・円陣はしない。ハイタッチ、抱擁を行わない。
- ・ベンチでは原則、マスク着用とする。咳エチケットを守る。

- ・ドリンクを冷やすためのアイスボックスは共有しない。
- ・ボトルおよびタオルを共有しない。
- ・ハーフタイムに可能な限り換気を行う。また、試合が終了したら換気を十分に行う。
- ・試合終了後は迅速に退館する。(TO や FK は除く)
- ・審判は原則ホイッスルカバー、レフリーマスクを着用する。

## 8. 更衣室、トイレについて

- ・利用者同士が密になることを避ける。
- ・更衣室が狭い場合は、一度に入室する利用者数を制限する。
- ・室内又はスペース内での複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス、床など）については利用者が消毒を実施する。
- ・利用者はマスクの着用し、会話は最小限とする。
- ・利用者は更衣室の滞在時間を短くするために着替えに限定する。(マスクは外さない)
- ・利用者はシャワーを交代で使用し、密集を避ける。
- ・手洗いは、ペーパータオル（使い捨て）にて手を拭く。  
(会場に備え付けがない場合は)各自タオルも用意すること。
- ・便器のふたを閉めて汚物を流すようにする。

## 9. 大会期間中の対応について

- ・主催者は大会期間中に陽性者／接触者が判明した場合、直ちに関係個所と連携し、対応する。該当チーム等の取り扱いについては、別途協議し関係者に通知する。

## 10. 事後対応について

<帰宅後2日以内に感染があった場合>

- ・チーム関係者はチームの感染対策責任者（チーム代表者）に報告する。
- ・チームの感染対策責任者は大会感染対策責任者（連盟理事長）に報告する。
- ・チーム関係者以外は、大会感染対策責任者（連盟理事長）に報告する。
- ・審判員は、大会感染対策責任者（連盟理事長）および県協会審判委員長に報告する。
- ・大会感染対策責任者（連盟理事長）は県協会感染対策責任者（県協会専務理事）、県協会審判委員長に報告する。

<連絡体制>

チーム関係者

チーム感染対策責任者（チーム代表者）

- 大会感染対策責任者（連盟理事長）
- 県協会感染対策責任者（県協会専務理事）
- 県協会審判委員長

チーム関係者以外

- 大会感染対策責任者（連盟理事長）
- 県協会感染対策責任者（県協会専務理事）
- 県協会審判委員長

審判員

- 大会感染対策責任者（連盟理事長）
- 県協会審判委員長
- 県協会感染対策責任者（県協会専務理事）

保健所などより連絡（感染者有り等の場合）

チーム関係者・チーム関係者以外

- 大会感染対策責任者（連盟理事長）
- 県協会感染対策責任者（県協会専務理事）
- 県協会審判委員長

審判員

- 大会感染対策責任者（連盟理事長）
- 県協会審判委員長
- 県協会感染対策責任者（県協会専務理事）

※：本ガイドラインは、福井県社会人バスケットボール連盟が主催、主管する大会における新型コロナウイルス感染症の感染を防止するための対応をまとめたものです。

原則、本ガイドラインに沿って運営を実施しますが、体育館の構造や施設ガイドライン等により、本ガイドライン通りに対応できない場合は、大会感染対策責任者（連盟理事長）の判断で対応することとします。

また、上位機関の指針により本連盟が必要と判断した場合は、都度改訂する場合がありますのでご了承ください。

第1版（2021年4月10日作成）

第2版（2021年11月29日改訂）

第3版（2022年5月11日改訂）

第4版（2022年9月24日改訂）

福井県社会人バスケットボール連盟  
理事長 網谷 昭義